

2019年8月22日

各 位

大同生命保険株式会社  
代表取締役社長 工藤 稔

## 2019年度 寄付による大学等でのオープン講座 ～ 当社創業者の一人「広岡浅子」が創立に関わった「日本女子大学」にて開催！ ～

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：工藤 稔）は、中小企業経営者のみなさまに、経営・ビジネスに関連する知識・スキルの習得の場をご提供するため、創業100周年を迎えた2002年より、「寄付による大学等でのオープン講座」を継続実施しており、今年度も全国各地の大学等で開催します。

このうち、明治から大正にかけて活躍した女性実業家「広岡浅子」が創立に関わった「日本女子大学」において、5年連続で講座を開催する運びとなりましたので、概要をお知らせします。

なお、女子教育に心血を注いだ「広岡浅子」は、命の重さに想いを馳せ、当社を創業した人物でもあります。

当講座は、ともに浅子の想いを受け継ぐ同大学と当社により、開催するものであり、より多くの方に、近代日本を颯爽と駆け抜けた浅子の生涯を身近に感じ、明日への活力につなげていただくことを目的としています。



広岡浅子（1849～1919）

### <講座の概要>

「人生100年時代を生きるあなたに - 広岡浅子の想い、つないで」をテーマに、日本女子大学と広岡浅子をめぐるエピソードや、新一万円札の図柄に選ばれた渋沢栄一氏と広岡浅子、日本女子大学の関わりについて講演いただきます。

一般向け公開講座	
テ ー マ	人生100年時代を生きるあなたに - 広岡浅子の想い、つないで
対 象	中小企業経営者・後継者、一般社会人・学生の方
日 時	11月2日（土） 13:30～16:00
場 所	日本女子大学 目白キャンパス 成瀬記念講堂
住 所	東京都文京区目白台2-8-1（JR山手線「目白駅」から徒歩約15分/バス約5分）
定 員	200名（申込順）
受 講 料	無料
申込方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレット※に記載されている「受講申込書」に必要事項を記入のうえ、日本女子大学生涯学習センター（目白）宛にFAXまたは郵送（ハガキをご用意ください）ください。 ※パンフレット掲載先：<a href="https://www.daido-life.co.jp/company/csr/community/course.html">https://www.daido-life.co.jp/company/csr/community/course.html</a></li> <li>同センターのホームページ（<a href="http://llc.jwu.ac.jp/mejiro.html">http://llc.jwu.ac.jp/mejiro.html</a>）からも申込可能です。（8月23日（金）より受付開始）</li> </ul>

以 上

## 【タイムテーブル】

日程	時間	内容	講師(敬称略)
11/2(土)	13:30 - 14:10	「広岡浅子の魅力、再発見」 ～和歌に託した浅子の心～	日本女子大学文学部教授 文学部長 高野 晴代
	14:25 - 15:05	「日本女子大学校の設立過程と広岡浅子」 ～大阪案から東京案へ～	日本女子大学名誉教授 吉良 芳恵
	15:20 - 16:00	「渋沢栄一と女子教育」 ～日本女子大に期待したこと～	関西大学客員教授 木村 昌人

(ご参考)

1. 日本女子大学 (<http://www.jwu.ac.jp/sp/>)

「日本女子大学」は、明治34年に“日本で最初の総合的な女子高等教育機関”として「成瀬仁蔵」により創立(当時の名称は「日本女子大学校」)されました。

創立以来、女子を「人として」「婦人として」「国民として」教育するという建学の精神を受け継いでいます。また、成瀬の残した「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」の「三綱領」を守り、自ら「判断」「決定」「実行」する力を身につけ、社会に貢献できる人物を養成するために「自学自動主義」のもとで女子教育に取組み、幅広い分野で活躍する多くのリーダーを輩出しています。

現在、自らの姿を示すタグラインとして“Bloom as a leader.”を定め、国際的視野をもって、社会をリードする女性を育成するため、全学的な体制のさらなる充実に取り組んでいます。

## 2. 日本女子大学と広岡浅子

「広岡浅子」と日本女子大学校の創立者である「成瀬仁蔵」との出会いは、明治29年のことでした。当時は、さまざまな面で男女の不平等がみられ、女子教育に対する一般の理解も、きわめて低い時代でした。そのような中、実業家として活躍していた浅子は、熱心な教育者であった成瀬の訪問を受け、女子大学校創設の必要を説かれます。

成瀬の理念に共感した浅子は、すぐさま女子大学校の創立発起人として手を挙げ、創立準備費用を支援。また、成瀬とともに、政財界の有力者たちに働きかけて協力をとりつけるなど、創立へ向けて精力的に活動しました。開校後もたびたび来校し、成瀬校長らの講義を受けたほか、学生たちと交流を深めたといわれています。